

『行動分析学』第2刷修正箇所

表記の修正（解説内容に関わるもの）

- 食餌
 - 動物が食物を摂取する場合は **食餌** に統一
 - 該当ページ：118, 119, 163, 165, 166
- 時隔
 - 「時間間隔」の意味での間隔 interval は **時隔** に統一
 - 該当ページ：129, 169

記述修正（解説内容に関わるもの）

- 第1章
 - p.11 項見出しの変更（目次も修正）
 - 旧 **第1の理由：納得感や共感を得るための「心」**
 - 新 **第1の理由：コミュニケーションの道具としての「心」**
- 第2章
 - p.50 「反転法とは」 3行目
 - 旧 **環境操作と介助観察を組み合わせた実験的方法の導入である。**
 - 新 **環境操作と行動観察を組み合わせた実験的方法の導入である。**
- 第4章
 - p.89 下から2行目
 - 旧 **実際の手続きについては図4-1参照**
 - 新 **実際の手続きについては図4-4参照**
 - p.90 図4-1
 - 旧 **第3期 ベースライン条件**
 - 新 **第3期 再ベースライン条件**
 - p.95 図4-3
 - 左上の水平線を破線に修正
- 第5章
 - p.136 図5-6解説文
 - 旧 **漸次的接近**
 - 新 **漸次的近似**
 - p.146 「反応連鎖」 4行目
 - 旧 **弁別刺激の誘発機能**
 - 新 **弁別刺激となっている刺激が同時にもっている誘発機能**
 - p.158 注1
 - 旧 **強化子は好子、弱化子は嫌子と呼ばれたりする場合がある（杉山ほか、1998）**
 - 旧 **提示型強化子は好子、提示型弱化子は嫌子と呼ばれたりする場合がある（杉山ほか、1998）**
- 第6章
 - p.167 「強化スケジュールの分類」 12行目
 - 旧 **要素スケジュール [structural schedule] と構成スケジュール [constituent schedule]**

- 新 要素スケジュール [constituent schedule] と構成スケジュール [structural schedule]
 - p.172 図6-2凡例
 - 旧 反応 / 時間
 - 新 累積反応数 / 時間 (分)
 - p.174 1行目
 - 旧 比較的長い休止
 - 新 比較的長い反応の休止
- 第7章
 - p.200 下から4行目
 - 旧 事態にも, いろいろな変形がある。
 - 新 手続きにも, いろいろな変形がある。
- 第8章
 - p.228 図8-2
 - Rc軸 からシーンCの ○ への垂線を削除
- 第9章
 - p.267 第3節「私的事象と情動反応」 6行目
 - 旧 (あるいは出来事)
 - 新 (あるいは私的出来事)
 - p.270
 - 上から3行目
 - 旧 公的に共有されることにはなるが
 - 新 人々の間で共有化されることになる場合があるが
 - 下から3行目
 - 旧 表情やしぐさと同じレベルの公的事象
 - 新 表情やしぐさと同じレベルの顕現的事象
- 読書案内
 - p.292 行動分析学の立場で書かれたいくつかの教科書 として以下を追記。
 - 眞邊一近『ポテンシャル学習心理学』（2019年, サイエンス社）
 - 島宗理『用行動分析学——ヒューマンサービスを改善する行動科学』（2019年, 新曜社）
- 本書で使用した略記
 - LL
 - 旧 遅延大強化子 (自己制御性選択肢)
 - 新 自己制御性選択肢 (遅延大強化子)
 - SS
 - 旧 即時小強化子 (衝動性選択肢)
 - 新 衝動性選択肢 (即時小強化子)

追加の文献紹介

本書の学びをさらに深めるための文献・書籍を紹介いたします。

- 強化子アセスメントに関する文献
 - Cautela, J. R. & Kastenbaum, R. (1967) A reinforcement survey schedule for use in therapy, training, and research. *Psychological Reports*, **20**, 1115-1130.
 - Cautela, J. R. (1972) Reinforcement survey schedule: Evaluation and current applications. *Psychological Reports*, **30**, 683-690.

- 反応連鎖に関する文献（多段階の行動を連鎖させた研究例）
 - Pierrel, R. & Sherman, J. G. (1963a) Barnabus, the rat with college training. *Brown Alumni Monthly*, February, 8-12.
 - Pierrel, R. & Sherman, J. G. (1963b) Train your pet the Barnabus way. *Brown Alumni Monthly*, February, 13-14.
- 日本語書籍
 - 『行動分析学事典』（丸善出版, 2019年）
 - 日本行動分析学会編
 - 日本行動分析学会による中項目事典。2019年時点の行動分析学での学術用語検討に基づいた編集が行われ、基礎から応用までの広い範囲をカバーしている。